

作成日 2006 年 11 月 30 日

改定日 2025 年 3 月 7 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報 化学品の名称 製品コード 会社名 住所 電話番号 FAX 番号 緊急連絡電話番号 推奨用途および使用上制限	高純度酸化アルミニウム R K - 3 0 岩谷化学工業株式会社 滋賀県湖南市菩提寺 327-14 0748-74-0321 0748-74-2469 0748-74-0321 触媒、添加剤
2. 危険有害性の要約 GHS 分類 ・健康に対する有害性	標的臓器／全身毒性（単回暴露）： 区分 3（気道刺激性） 標的臓器／全身毒性（反復暴露）： 区分 1（肺、吸入） ※上記 GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、 「分類できない」または「区分に該当しない」に該当する。 また健康有害性については 11 項、環境影響情報については 12 項 に記述する。
ラベル要素 ・絵表示又はシンボル ・注意喚起語 ・危険有害性情報 ・注意書き 安全対策 応急処置 保管 廃棄	健康有害性、感嘆符  危険 呼吸器への刺激のおそれ 長期にわたる又は反復暴露による臓器（肺、吸入）の障害 粉塵を吸入しないこと。 屋外または換気のよい区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取り扱い後は手をよく洗うこと。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息さ せること。 気分悪い時は、診断を受けること 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 内容物や容器を法規に従い、廃棄物処理業者に委託して廃棄するこ と。

3. 組成および成分情報 物質 - 化学物質・混合物の区別 - 化学名又は一般名 - 慣用名または別名 - 成分および濃度または濃度範囲 - 化学式 - 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) - C A S 番号 - EINECS 番号 - G H S 分類に寄与する成分	化学物質（単品） 酸化アルミニウム（Aluminium Oxide） アルミナ（Alumina） 99.9% 以上 Al_2O_3 (1) - 23 1344-28-1 215-691-6 データーなし
4. 応急措置 - 吸入した場合 - 皮膚に付着した場合 - 眼に入った場合 - 飲み込んだ場合 - 急性および遅発性の症状の最も重要な徴候症状 - 医師に対する特別注意事項	水でうがい後、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。。 皮膚を大量の水で速やかに洗浄すること。 痛みなどの症状が続く場合医師の診断を受けること。 清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。 速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。 眼、上気道の刺激、眼の発赤、咳 情報なし

5. 火災時の処置 ・ 適切な消火剤 ・ 使ってはならない消火剤 ・ 火災時の特有の危険有害性 ・ 特有の消火方法 ・ 消火を行う者の特別な保護具 および予防処置	本物質は不燃性。周辺の火災に適応した消火剤を使用する。 特に無し 本物質は不燃性であり、特に無し 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は風上から行う。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業の際には、目や皮膚を保護する防護服（耐熱性）など適切な保護具を着用する。
6. 漏出時の措置 ・ 人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置 ・ 環境に対する注意事項 ・ 封じ込め及び浄化方法と機材	漏洩区域内で作業する時は適切な保護具(防塵マスク、ゴーグル、手袋)を着用する。 こぼれた場合は、十分に換気を行い、真空掃除機などで発塵のないように回収する。 外部（河川、下水道、土壌）に排出されないように注意する。 特に無し 漏洩物を掃き集めるか真空掃除機で吸引し、密閉できる容器に回収した後、廃棄処理する。 回収不能分については、多量の水で洗い流し、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。
7. 取り扱い及び保管上の注意 取扱い ・ 技術的対策 ・ 安全取扱注意事項 ・ 接触回避 ・ 衛生対策 保管 ・ 安全な保管条件 ・ 容器包装材料	なるべく粉塵の発生、拡散を避ける。 適切な保護具を着用する（ゴーグル、防塵マスク、手袋） （8. ばく露防止および保護措置の項を参照） 必要により、局所排気装置を設置する。 取扱い後はよく手を洗うこと。 粉塵を発生させないようにする。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 データなし データなし 高温多湿を避け、密閉された容器で換気の良い場所で施錠して保管する。 外装：段ボールまたはクロスクラフト袋（紙袋） 内袋：ポリエチレン袋

8. 暴露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具 ・呼吸器の保護具 ・手の保護具 ・眼の保護具 ・皮膚及び身体の保護具	3.0 mg/m³ 吸入性粉塵 0.5mg/m³ 総粉塵 2mg/m³ (日本産業衛生学会 2024 第1種粉塵 アルミナ) TLV/TWA 1mg/m³ (ACGIH 2015) 必要により、局所排気装置を設置する。 防じんマスクを使用する。 適切な保護手袋を着用。 保護眼鏡／顔面保護具を着用すること。 保護衣、安全靴等の保護具を着用する。
9. 物理的及び化学的性質 ・物理状態 ・色 ・臭い ・融点/凝固点 ・沸点または初留点および 沸点範囲 ・可燃性 ・爆発下限界および爆発上限界/ 可燃限界 ・引火点 ・自然発火点 ・分解温度 ・pH ・動粘性率 ・溶解度 ・n-オクタノール/水分配係数 ・蒸気圧 ・密度および・または相対密度 ・相対ガス密度 ・粒子特性	固体 (粉末) 白色 無臭 2,072℃ 2,977℃ 不燃性 データなし 引火性なし 不燃性 データなし データなし データなし 水：不溶 データなし データなし 3.1 g/cm³ データなし D50 2.1 μm 比表面積(BET) 150m²/g

14. 輸送上の注意 ・ 国連番号 ・ 品名（国連輸送名） ・ 国連分類 ・ 容器等級 ・ 海洋汚染物質 ・ MARPOL73/78 付属書および IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 ・ 輸送または輸送手段に関する特別の安全対策 ・ 国内規制 - 海上規制情報 - 航空規制情報 - 陸上規制情報	— 非危険物 非該当 非該当 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、内容物が漏洩して発塵のないように取り扱うこと。 輸送時は直射日光ならびに高温多湿を避ける。 船舶安全法に従う。（非危険物） 航空法に従う。（非危険物） 消防法、道路法に従う。（非危険物）
15. 適用法令 ・ 労働安全衛生法 ・ じん肺法 ・ 毒物および劇物取締法 ・ 消防法 ・ 水質汚濁防止法 ・ 化学物質排出管理促進法（PRTR 法） ・ 外国為替及び外国貿易管理法	通知対象物質、特定危険有害化学物質に該当しない 施行規則第 2 条別表 粉塵作業 非該当 非該当 施行令第 3 条の 3 指定物質（アルミニウムおよびその化合物） 非該当 輸出貿易管理令 キャッチオール規制 別表第 1 の 16 の項（HS コード：2818.20）
16. その他の情報 ・ 引用文献	1) JIS Z 7253:2019 2) GHS 対応 化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・SDS 提供制度「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）」に基づく化学品の危険有害性情報の伝達 令和 6 年 10 月 経済産業所 厚生労働省 3) 許容濃度の勧告（産業衛生学雑誌 2024 年度） 4) NITE 化学物質総合情報提供システム HP 5) 厚生労働省 職場の安全サイト HP 6) 13700 の化学商品（化学工業日報社） 7) 安全衛生法令要覧（中央労働災害防止協会） 8)